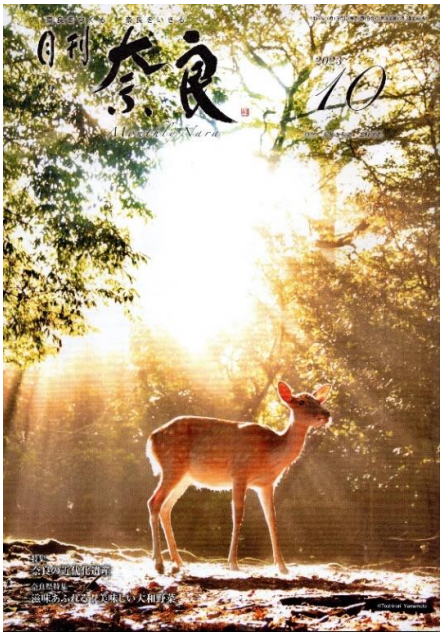
現代奈良協会「月刊奈良」編集局

「月刊奈良」　特集「奈良の近代化遺産」

令和５年（2023）10 月号　第 63 勘第 10 号
令和５年 10 月１日発行

「月刊奈良」創刊昭和 36 年６月で奈良を知るための総合情報誌「奈良の素材の本質」を皆様にお伝えしています。
奈良をつくる　奈良をいきる
今月号は、連綿と長い歴史を紡いでいる奈良県には、古代の遺産だけではなく、近代の立派な遺物も多く残っています。使い続けられているもの、用途を替えて残っているもの、それらの一部を紹介します。編集後記より



特集　奈良の近代化遺産

今夏、全国近代化遺産活用連絡協議会（第 24 回）が奈良県で開催された。幕末から第二次世界大戦期までの間に、近代的手法によって建設され、我が国の近代化に貢献した産業、交通、土木などに関する遺産。
今回取り上げられたのはその中から 10 点が紹介された。（その中の２点に今昔写真 WEB の写真が掲載）

天理大学附属天理図書館西館（威風堂々、レトロモダンな知の大空間）
昭和５年（1930）竣工の鉄筋コンクリート造５階建、令和５年登録有形文化財となる。大空間に入念に手入れされた閲覧台等が整然と並ぶ様子など、その厳格かつ静謐な美しさに目を瞠る。現役の大学図書館である。
〈右写真　昭和 29 年頃の天理図書館閲覧室〉
天理市設置公文書　市町村廃置分合一件
（昭和 29 年作成）奈良県立図書情報館蔵
天井灯の違いが時の経過を語る。

昭和 29 年頃の天理図書館閲覧室
天理市設置公文書　市町村廃置分合一件
（昭和 29 年作成）
奈良県立図書情報館蔵蔵

生駒鋼索鉄道（日本初の乗客用ケーブルカー）
大正７年（1918）日本初のケーブルカー鉄道路線として開業。当初は生駒山麓の鳥居前から山腹の宝山寺駅間、昭和４年（1929）に生駒山上遊園地開園し、宝山寺駅から生駒山上駅間開通。現在も現役で走っている。
〈右写真　大正時代の生駒鋼索鉄道〉
写真絵葉書提供：成瀬匡章氏

大正時代の生駒鋼索鉄道
写真絵葉書提供：成瀬匡章氏

掲載の写真は奈良県立図書情報館今昔 WEB より